

令和元年度 学生の海外派遣プログラム一覧表

派遣先大学/プログラム	派遣期間	派遣学生数	派遣目的	派遣事業の内容
龍仁大(韓国) / 海外武道実習(現代武道学科)	元.7.1~7.5	17名 (引率等3名)	海外における武道教育に関する体験の場として、武道を通じての護衛や社会の安全・安心の確保の方策について実習を行う。	武道と警護実務を学ぶほか、警護の実践されている現場を見学することで警護についての知識や実践されている警護の実態を理解する。
ハワイ大学(アメリカ) / NATAアスレティックトレーニング研修	元.9.2~9.10	5名 (引率等5名)	AT本場の米国ハワイ大学で米国のAT制度、AT教育制度、AT職域に関する国際間の異同、および異文化体験を通して異文化を理解し、柔軟な思考や専攻分野の国際的動向を理解する力の育成を行う。	本学では経験できない人体解剖など、ハワイ大学の学生とともにATの授業を受講する。実践的な場として、地元の高校のアメリカンフットボール部の練習に参加し、ATとしての活動を行う。
	2.2.10~2.18	7名 (引率等5名)		
カヤーニ応用科学大学(フィンランド) / フィンランド スポーツ・健康科学分野における短期留学	2.2.8~3.18	1名 (引率等1名)	英語でスポーツ・健康科学について学び、授業や海外生活を通し実践的な英語力の向上を図り、フィンランドの文化や風土を実体験から学び国際感覚に触れる。	ツーリズム&スポーツ学部が提供するスポーツ&レジャーマネジメント英語プログラムへ短期留学をし、留学期間中に開講されている授業を自ら選択して受講する。
ホーチミン市体育大学(ベトナム) / ベトナム運動栄養・食品衛生・異文化交流留学研修	2.2.8~2.19	◇新型コロナウイルスにより中止6名 (引率者3名)	運動栄養・食品衛生等の知見の紹介実践を通して現状を学び今後の日本における支援のあり方を考察する。また、ベトナムオリンピック委員会などを訪問し、スポーツ栄養に関する日本とベトナムの比較をする。	ベトナムオリンピック委員会を訪問し、ベトナムでの運動栄養について見聞する。また、ベトナム伝統武道、高齢者への健康増進などについて考えを深める。
龍仁大(韓国) / 韓国伝統武道・警護・文化研修プログラム	2.2.10~2.22	◇新型コロナウイルスにより中止5名 (引率者2名)	韓国における伝統武道(テコンドーなど)の実態と精神を知り、韓国では日本の武道をどのように捉えているか、日韓武道の比較などについて考えを深める。	韓国武道技術を学び、日本との比較研究をする。また、語学にも触れさせ、韓国武道の背景となる歴史や文化体験を行う。
カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(アメリカ) / 日米スポーツ科学事情比較セミナー	2.2.9~2.23	7名 (引率等2名)	専門分野を通じて両国の相違点に目を向け、多角的視野を身に付ける。両国におけるスポーツの位置づけや価値観の違いを学びオリンピックのような国際舞台で必要とされる知識、スキル、人材について理解する。	スポーツ現場で専門的な知識を持ち、国際感覚も備え持った人材として活躍できるよう、スポーツマネジメント、コーチング、スポーツ情報マスメディア、スポーツ栄養など、スポーツ現場を支える分野を総合的かつ多角的視野を持って学ぶ。講義形式や現地施設、イベント等を見学したり、ホームステイにより現地の暮らしを体験したり、海外生活に対する理解を深める。
ノアフェンス国民大学等(デンマーク) / デンマーク国における健康教育プログラム	2.2.14~2.25	3名 (引率等3名)	医療や福祉、教育の現場で年齢、障害、疾病等の有無に関わらず「運動」や「スポーツ」「レクリエーション」を通じてあらゆる人たちの健康づくりや、人間らしい生活を支援する役割を担う人材育成の観点から異なった国の医療・福祉・教育の情報を収集し、広く国際的視野を持たせる。	健康教育を中心としたプログラム・講義を現地の学生と受講し、言語や文化を実体験から実践的な語学力を向上させデンマークの健康教育についての理解を深める。また、外国語(特に英語)で専門分野を学ぶことの重要性を認識し、両国の健康支援に関わる文化や歴史、教育方法等の相違を学ぶ。
台東大学(台湾) / 協定校短期交換留学プログラム	2.2.22~3.8	◇新型コロナウイルスにより中止2名 (引率者2名)	外国語(特に英語と中国語)の語学力向上と台湾でスポーツ健康科学を学ぶことの素晴らしさを知り、本学が標榜している「英語でスポーツを語るキャンパスづくり」の担い手として、大学教育のグローバル化に貢献することのできる人材を育成する。	外国語(英語・中国語)で自身の専門であるスポーツ・健康科学について学ぶ。
カンタベリー大学・CCEL(ニュージーランド) / 被災地復興・スポーツ文化交流プログラム	2.2.13~3.7	3名 (引率等2名)	CCELでの英語学習、スポーツ、ホームステイ、被災地ボランティア、文化体験などの活動を通して英語の能力を高める。	CCELにて各自の英語能力に合ったクラスで英会話を中心に学ぶ。また、カンタベリー大学の学生と授業やスポーツを通して交流、被災地でのボランティア活動、教育機関の見学、プロスポーツ観戦を行うことを通して実践的な英語能力を高める。
ベラルーシ国立体育・スポーツ学院(ベラルーシ) / ベラルーシ共和国(2020東京五輪事前キャンプ招致国)へのスポーツ科学体験プログラム	元.6.20~6.28	10名 (引率等5名)	コーチング、トレーナー、マネジメント、スポーツ栄養、情報戦略、幼児体育その他、それぞれの主たる専攻領域に関し、プログラム体験を通じて獲得した知識・技術を習得させる。	東京オリンピック・パラリンピックに選手を派遣する立場の国におけるスポーツ科学事情を体験する。
瀋陽師範大学(中国) / 中国武術・文化研修プログラム	元.9.6~9.13	3名 (引率等2名)	中国武術や語学を学習すると同時に、中国文化を体験させるものである。瀋陽師範大学の留学生寮にて生活し、中国の学生や他の留学生との親睦をはかりながら、海外武道の専門性を学ぶ。	日本の武道とその応用として中国武術を受講し、海外における武術の成立過程や日本の武道との関係について専攻している。このプログラムはそれを深く掘り下げ、武術の理論と実技さらに精神論に関連する内容を習得するものである。
瀋陽師範大学(中国) / 中国武術・文化研修プログラム	2.3.5~3.12	◇新型コロナウイルスにより中止6名 (引率者1名)	中国武術の理論・実技について学習する。	中国武術(太極拳)、中国伝統文化を体験する。